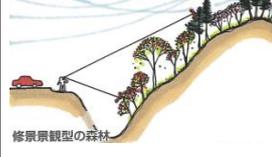
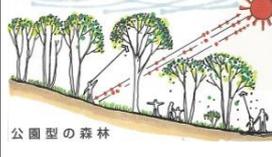
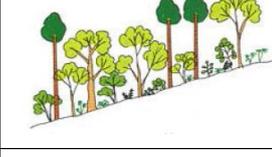


出典・参考図書・関連情報  
(青文字はリンクしています)

## 森のタイプ別手入れ

森林にはタイプ(目標林型)があり、森林の手入れ方法もそのタイプにより異なります。森林調査後、森林タイプを決めて手入れの計画を作り、関係者の同意を得て手入れを進めます。森林タイプと手入れ方法は多数ありますが、その一例を紹介します。

森林タイプ (目標林型)	森林の特徴	手入れのポイント (間伐等)	代表的 樹種	森林イメージ (平地林も同様)	
広葉樹林	林地保全林	土砂の流出を防ぎ、豊かな自然植生を回復させて、多くの生物が生活できる森林	多種類の樹木構成になるように留意。受光伐で林床植生を増加 1500本/ha 主伐時期：さまざま	<広葉樹> スダジイ タブノキ	 林地保全型の森林
	傾斜防災林	木々の根がしっかりと張り、土や石を抱えて山崩れを防ぎ、人々の生活を守ってくれる森林	常緑樹や深根性の樹木を残し、浅根性の樹木は伐採 800本/ha 主伐時期：さまざま	<広葉樹> ヤブツバキ アラカシ ケヤキ	 防災型の森林
	修景景観林	人々の心にやすらぎをもたらし、見る人の心をなごませてくれる森林	樹形の良い木や風致木を残し、見通しの良い状態にする 300本/ha 主伐時期：さまざま	<広葉樹> サクラ類 カエデ類 クサギ  コナラ クヌギ	 修景景観型の森林
	公園林	自然体験の場、楽しい遊び場などに利用でき、人々の暮らしとの関わりを学べる森林	ランダムマーク用の木を中心に施業し、思い切って伐採整理 300→100本/ha(2段階) 主伐時期：なし	<広葉樹> イヌシデ ケヤキ	 公園型の森林
	きのこ薪炭生産林	きのこや薪や炭の原木が採れる森林	萌芽株の本数整理して原木以外の樹種は伐採 2500本/ha 主伐時期：10~20年(短伐期)	<広葉樹> コナラ ミズキ	
	木工材生産林	木工用の原木が採れる森林	不用木を伐採、または有用木を利用のため収穫 800本/ha 主伐時期：40~50年(中伐期)	<広葉樹> ミズギ イヌエンジュ マユミ	 生産型の森林
	家具材生産林	家具用・建築装飾用の原木が採れる森林	形質の良い主木以外は5mで切る。被圧木はそのまま生育 植栽：5000~10000本/ha 1回目間伐：15年→300本/ha 10~15年間隔で間伐・収穫 主伐時期：100年(長伐期)	<広葉樹> コナラ クヌギ ケヤキ ホオノキ	
針広混交林	人工針葉樹林に天然広葉樹を誘導して、多面的な機能を発揮させる森林	植林された針葉樹林に強めの間伐をして、樹間に天然の広葉樹を生育 1回目間伐：40~50% 6~8年後：50~80本/ha	<針葉樹> スギ ヒノキ  <広葉樹> (天然樹種)		
針葉樹林	建築用柱・梁等の原木が採れる森林	樹木の形質や間隔を考慮して間伐 植栽(標準)：3000本/ha 下刈り、つる切り、除伐、枝打ち、10~15年間隔で間伐(30~35%)、主伐時期(短期伐)：40~50年	<針葉樹> スギ ヒノキ		
竹林	竹を有効利用するために整備された竹林	立地条件・種類・用途・直径により、適切な立竹本数を残存 モウソウチク(径10cm)：60本/a(標準) マダケ(径6cm)：60本/a(標準)	モウソウチク マダケ ハチク		

1ha(ヘクタール)：100m×100m

1a(アール)：10m×10m

資料・図：「広葉樹林整備指針」(神奈川県、平成7年)より

資料：「広葉樹整備マニュアル」(神奈川県、平成15年)

図：「水源の森林づくり事業の推進」(神奈川県)より

神奈川県は水源林整備の方法を定めています。

資料：「水源林整備の手引」(平成29年)

写真：「市民による里山整備指針」(神奈川県、平成13年)より